

まちづくり提言コンペ<表彰式>の開催

2018年12月3日(月)15時30分~16時30分、熱田区役所3階301会議室にて「まちづくり提言コンペ表彰式」を開催します。

【まちづくり提言コンペ】

「まちづくり提言コンペ」は、名古屋学院大学全学部1年生を対象とした全学生・教員参加型教育イベントです。1年次必修科目である「基礎セミナー」の共通テキストで地域(名古屋市熱田区・瀬戸市)の課題を学び、その解決策をレポート(パワーポイントA4・1枚)にまとめます。そして、提出されたレポートは、学内選考を経た後、地域の行政職員が優秀作品を選出し学生を表彰します。新入生が、早い段階からキャンパス周辺の地域に愛着を抱くようにすること、また課題解決能力や提案力の育成を目的としています。

■ 2018年度受賞者(レポート提出/全学部合計671件)

◀最優秀賞▶

『名古屋学院大学児童館オープン!』/外国語学部1年 柴田佳美 【担当教員】有菌智美 准教授

◀優秀賞▶

『過去と未来のハイブリッド観光地』/現代社会学部1年 山田優武 【担当教員】玉川貴子 准教授

『放置自転車を無くして「住みやすい」を実感できるまちに』/経済学部1年 田中佑樹 【担当教員】家本博一 教授

①テーマ

過去と未来のハイブリッド観光地

②アイデア

「そんな時は!」
車使えないし...
職 老 観 親

「観光地として売り出す」
観光地として売り出すなら...
第一回 空き家対策実行委員会!

東京 大阪 名古屋

名古屋学院大学

③アイデアの特徴・メリット

熱田区の空き家の件数は決して少ないとは言えない。空き家は地域の安全性を脅かす種ともなりうる。これを良機として、リメイクし区画として管理下に置き、高齢化の進む熱田区に生活している人を雇い、生活を営んで海外の方を出迎える「観光の窓口」として、担ってもらえ、熱田区にある駅の一つに「神宮前」があるが、これが中部国際空港とつながっている。これを利用して、感懐の民泊を用意、海外の方の日本滞在の最終の日本文化、体験断として利用してもらう。これは名古屋の特色に由来する。日本の物理的中心といっても過言ではないこの愛知県の交通の便は、東京と大阪を結ぶにつれて、しかしこの両県の宿泊業と観光地との関係は、比例するようものである。また、近年完成予定のリニアは、より東京とこの地の距離を近くする。歴史的にも、尾張、三河の地は日本を結ぶうえで重要拠点であり、これはぜひ海外の方にも見てもらいたい。しかし、名古屋市熱田区にはもう一つの障害があると考えた。

【まちづくり提言コンペ<表彰式>の開催】

■ 開催日時 : 2018年12月3日(月) 15:30~16:30

■ 開催場所 : 熱田区役所3階301会議室

〒456-8501 名古屋市熱田区神宮三丁目1番15号

■ 参加者 : 丹下昌彦(熱田区長)、小林甲一(名古屋学院大学学長)

他 熱田区職員5名、名古屋学院大学教職員8名、学生3名

<内容詳細に関する問い合わせ>

名古屋学院大学社会連携センター TEL : 090-4238-4380 担当/杉山